

申請団体名：木田まち自治会

平成 30 年度浜田市まちづくり総合交付金 課題解決特別事業 事業報告書

事業名

木田美景観事業 / 木田魅力アップ事業 (H30/6月～H33/3月計画)

事業費(予算額): 500,000円(まちづくり総合交付金課題解決特別事業: 500,000円)

P 事業の目的(解決を目指す課題)や見込まれる成果
地域の空き家・耕作放棄地を住民が把握する。所有者との確認も必要。現状で放置した場合の防災や景観を損ねることを想定し、空き家の整理や、耕作放棄地を活用する取り組みを行なう。

D 事業の概要

〈空き家調査〉
～7月末～
各地区評議員が調査を行った。後に市へ提出し、市から持ち主へ連絡。交渉など必要であれば住民が行う事もある。

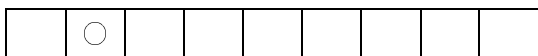
〈耕作放棄地活用〉
～7月末～
目立つ場所にある荒れ地の土地の所有者に許可をもらい、草刈りを行った。その後の意見がまとまらず今年度はそのまま放置。放棄地の場所確認を行い地図に記す。今後はH31年度5月頃草刈りを行いひまわりを植える。8月頃に咲けば景観としても明るくなる。9月その種を採取。油を搾るなどしてそれを活かす取り組みをする。

〈防災マップ〉
～毎月～
公民館が木田さんぽ♪を行なう。これまで散歩した場所の地図をすでに作っていて、距離や危険箇所の把握もできている。今後、どのような地図にするのか、内容を細かく協議。

〈木田さんぽ♪〉
公民館が呼びかけ、毎回5かぶつ歩きながら危険箇所や地域の様子を見る。地図を持って歩き、気になる事があれば書き込む。
・4月2日(18名)
・5月28日(10名)
・6月25日(9名)
・11月13日(9名)
・3月12日(8名)
新年度も継続する予定。

C 課題の解決度合(10段階の自己評価)

1 2 3 4 5 6 7 8 9 10



・上記評価の理由

耕作放棄地について、ひまわりなど鑑賞できるものを植えてその後ひまわり油の搾油を検討中。
空き家調査は掘り起しは完了。
防災マップは木田さんぽ♪で地図のベースを作成。

A 事業の継続、発展に向けて今後取り組むこと(評価を10に近づけるために)

役員改正などがあり、次年度への引き継ぎが大事。継続できるよう、課題や目的の共有をきちんと行なう。課題を放置しない。取り組みの計画の詳細を決める。前年度の役員と新年度役員が引き継ぎも兼ねて一緒に話し合う場をつくる。耕作放棄地は再度整備を行いそこで作ったものを販売を目的として加工など行なう取り組みにしていきたい。

空き家の調査表。地区評議員に担当地区の空き家について調べてもらった。

荒れ地になっていた土地を部会のメンバーで整備した。その後の活用について検討中。



空き家調査表 平成30年7月15日 調査

所在地	浜田市聖明水町	町名	聖明水町	行政区	5区
種別	新築	本建年数		地積	
用途	住宅	延床面積		合計	
行状	無()	住居	空家	用途	住宅
所有者	氏名	住所			
管理者	氏名	住所			

調査項目

近接状況	<input type="checkbox"/> 近接で居住可能	<input type="checkbox"/> 近接で居住可能	<input type="checkbox"/> 居住不可能
近接の近所	<input type="checkbox"/> 住宅・建物のみ	<input type="checkbox"/> 土地・建物の全て	<input type="checkbox"/> 近接の近所無し
近接の近所	<input type="checkbox"/> 住宅・建物のみ	<input type="checkbox"/> 土地・建物の全て	<input type="checkbox"/> 近接の近所無し
近接の近所	<input type="checkbox"/> 近接可能	<input type="checkbox"/> 近接可能	<input type="checkbox"/> 近接可能
近接の近所	<input type="checkbox"/> 近接可能	<input type="checkbox"/> 近接可能	<input type="checkbox"/> 近接可能

物件所在地